



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年3月15日

上場会社名 株式会社アイリッジ 上場取引所 東
 コード番号 3917 URL http://iridge.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0兼管理グループ長 (氏名) 英 一樹 TEL 03-6441-2325
 四半期報告書提出予定日 平成31年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年8月1日～平成31年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,982	—	△108	—	△105	—	△97	—
30年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △96百万円 (—%) 30年7月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△14.90	—
30年7月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	3,209	2,724	76.8	373.89
30年7月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 2,466百万円 30年7月期 一百万円

(注) 平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年7月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年8月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200 ～3,400	—	65 ～105	—	65 ～105	—	20 ～45	—	3.04 ～6.84

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。
 3. 平成31年3月期は決算期変更の経過期間となり、平成30年8月1日から平成31年3月31日までの8か月決算となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社DGマーケティングデザイン、除外 1社 （社名）－
（注）詳細につきましては、添付資料P 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に
関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	6,596,400株	30年7月期	6,539,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	127株	30年7月期	87株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	6,568,892株	30年7月期2Q	5,553,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。